



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日  
上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社  
コード番号 4022 URL <https://www.rasa.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂尾 耕作  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 常務執行役員 (氏名) 望月 哲夫 TEL 03-3258-1835  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	20,640	△18.1	1,376	△47.6	1,353	△50.8	991	△45.8
2023年3月期第2四半期	25,205	56.4	2,626	73.2	2,750	77.5	1,831	70.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,408百万円 (△42.0%) 2023年3月期第2四半期 2,430百万円 (80.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	125.27	—
2023年3月期第2四半期	231.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	45,095	23,886	53.0
2023年3月期	47,552	23,252	48.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 23,886百万円 2023年3月期 23,125百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	41.00	—	82.00	82.00
2024年3月期（予想）	—	—	—	41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△13.3	3,250	△29.7	3,050	△35.0	2,100	△35.0	265.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年11月14日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,944,203株	2023年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	20,638株	2023年3月期	30,972株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,916,126株	2023年3月期2Q	7,915,911株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに伴う行動制限の解除により社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復に向かいました。一方で、ウクライナ情勢の長期化などによるエネルギー価格や原材料価格の高騰によるインフレ、為替相場の変動、更に、世界的な半導体市場の悪化も加わり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、中期経営計画2023の最終年度を迎え、引き続き「次世代への変化に対応した事業戦略の推進と将来に向けた事業基盤の更なる強化」を基本方針とした、既存事業の強化・領域拡大やグローバル市場への対応強化、新規事業の探索・育成などの事業戦略を推進していくとともに、これら事業戦略を支える基盤整備として、DXやESGの取り組みや人材戦略にも注力し、収益力の向上と持続的成長に向けた新規事業の育成などの経営課題の解決に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高206億40百万円（前年同期比18.1%減）、営業利益13億76百万円（前年同期比47.6%減）、経常利益13億53百万円（前年同期比50.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億91百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ①化成品事業

燐酸などの燐系製品につきましては、半導体向け高純度品が半導体市況の悪化を受け、販売数量の減少により大幅な減収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、上水道向け製品は増収となりましたが、電子部品のエッチング用途向けが減収となりました。

コンデンサー向け原料は、調整局面の継続による販売数量の減少により大幅な減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、167億19百万円（前年同期比21.9%減）、セグメント利益は、12億77百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

#### ②機械事業

建設機械につきましては、破碎機、選別機等の本体販売が減収となりましたが、プラント販売は増収となりました。消耗部品は、ほぼ前年並みに推移しました。精密機械加工は減収となりました。

下水道関連向け掘進機の土木機械につきましては、本体販売、レンタル物件ともに減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、26億76百万円（前年同期比18.4%増）、セグメント利益は、2億92百万円（前年同期比51.8%増）となりました。

#### ③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、ガリウム、インジウム等は半導体市況の悪化を受け、販売数量の減少により大幅な減収となりました。タッチパネル等に用いられる塗布剤は、テレワーク関連特需の終息により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、6億8百万円（前年同期比32.8%減）、セグメント利益は、24百万円（前年同期比90.4%減）となりました。

#### ④その他

石油精製用触媒の再生事業は、増収となりました。不動産の賃貸は、ほぼ前年並みに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、6億36百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は、3億82百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて27億63百万円減少し、228億1百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金が20億50百万円の減少、流動資産その他（主に未収入金）が5億10百万円減少、棚卸資産が4億38百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて3億5百万円増加し、222億93百万円となりました。この主な内訳は、投資有価証券が6億19百万円増加した一方、有形固定資産が2億67百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて30億91百万円減少し212億8百万円となりました。この主な内訳は、支払手形及び買掛金が18億44百万円減少、長期借入金が10億8百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を9億91百万円計上、為替換算調整勘定が4億37百万円増加した一方、剰余金の配当により6億48百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億34百万円増加し238億86百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は450億95百万円となり、自己資本比率は53.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20億50百万円減少し、28億89百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18億15百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益14億94百万円、減価償却費9億30百万円、棚卸資産の減少6億37百万円、仕入債務の減少18億58百万円、その他負債の増加5億41百万円、法人税等の支払額6億62百万円、保険金の受取額4億97百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は14億13百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出4億88百万円、関係会社株式の取得による支出8億95百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は25億84百万円となりました。主な内訳は、短期借入金の減少額6億20百万円、長期借入金の返済による支出11億48百万円、配当金の支払額6億44百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の経済動向を勘案し、2023年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年11月14日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,940	2,889
受取手形及び売掛金	11,303	11,541
商品及び製品	3,827	3,731
仕掛品	1,372	1,818
原材料及び貯蔵品	3,165	2,377
その他	957	447
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	25,564	22,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,097	4,022
機械装置及び運搬具（純額）	4,682	4,432
工具、器具及び備品（純額）	901	926
土地	6,879	6,879
建設仮勘定	1,234	1,277
その他（純額）	96	87
有形固定資産合計	17,893	17,625
無形固定資産	40	51
投資その他の資産		
投資有価証券	2,736	3,356
その他	1,322	1,265
貸倒引当金	△5	△6
投資その他の資産合計	4,053	4,615
固定資産合計	21,987	22,293
資産合計	47,552	45,095

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,524	3,680
短期借入金	7,147	6,656
未払法人税等	730	539
賞与引当金	460	469
その他	1,874	2,325
流動負債合計	15,737	13,671
固定負債		
長期借入金	5,021	4,012
退職給付に係る負債	3,165	3,156
その他	376	368
固定負債合計	8,563	7,537
負債合計	24,300	21,208
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	14,199	14,540
自己株式	△59	△39
株主資本合計	22,583	22,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	91
繰延ヘッジ損益	10	10
為替換算調整勘定	743	1,180
退職給付に係る調整累計額	△366	△339
その他の包括利益累計額合計	542	942
非支配株主持分	126	—
純資産合計	23,252	23,886
負債純資産合計	47,552	45,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	25,205	20,640
売上原価	20,142	16,842
売上総利益	5,062	3,798
販売費及び一般管理費	2,435	2,421
営業利益	2,626	1,376
営業外収益		
受取配当金	27	46
受取地代家賃	13	15
為替差益	35	52
持分法による投資利益	191	37
その他	31	21
営業外収益合計	299	172
営業外費用		
支払利息	93	96
休止鉱山鉱害対策費用	56	58
その他	26	40
営業外費用合計	176	195
経常利益	2,750	1,353
特別利益		
受取保険金	—	140
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	140
特別損失		
災害による損失	32	—
特別損失合計	32	—
税金等調整前四半期純利益	2,720	1,494
法人税、住民税及び事業税	745	468
法人税等調整額	125	27
法人税等合計	871	496
四半期純利益	1,849	998
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,831	991

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,849	998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△63
繰延ヘッジ損益	20	△0
為替換算調整勘定	445	394
退職給付に係る調整額	27	26
持分法適用会社に対する持分相当額	113	52
その他の包括利益合計	580	410
四半期包括利益	2,430	1,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,400	1,392
非支配株主に係る四半期包括利益	29	16

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,720	1,494
減価償却費	915	930
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	83	29
受取利息及び受取配当金	△27	△46
持分法による投資損益(△は益)	△191	△37
支払利息	93	96
保険差益	—	△140
売上債権の増減額(△は増加)	△2,115	△95
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,717	637
その他の資産の増減額(△は増加)	△123	215
仕入債務の増減額(△は減少)	827	△1,858
その他の負債の増減額(△は減少)	116	541
その他	△24	△8
小計	556	1,757
利息及び配当金の受取額	132	323
利息の支払額	△94	△100
法人税等の支払額	△661	△662
保険金の受取額	—	497
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68	1,815
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△789	△488
関係会社株式の取得による支出	—	△895
その他	△25	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△815	△1,413
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,155	△620
長期借入金の返済による支出	△1,910	△1,148
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△144
配当金の支払額	△551	△644
その他	△72	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	620	△2,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	193	131
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69	△2,050
現金及び現金同等物の期首残高	3,538	4,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,469	2,889

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	21,410	2,260	905	24,576	628	25,205	—	25,205
外部顧客への売上高	21,410	2,260	905	24,576	628	25,205	—	25,205
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	—	—	8	17	25	△25	—
計	21,418	2,260	905	24,585	645	25,230	△25	25,205
セグメント利益	2,412	192	249	2,854	350	3,204	△578	2,626

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△578百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△579百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	16,719	2,676	608	20,004	636	20,640	—	20,640
外部顧客への売上高	16,719	2,676	608	20,004	636	20,640	—	20,640
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6	—	—	6	16	23	△23	—
計	16,725	2,676	608	20,011	653	20,664	△23	20,640
セグメント利益	1,277	292	24	1,594	382	1,977	△600	1,376

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△600百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△601百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。